

New Finding Out 2

Building Patterns and Fluency

～ 言語パターン・流暢さの構築 ～

英語の基盤から骨組み作りへ

「ニュー・ファインディング・アウト」シリーズでは、子供たちが圧倒されることなく、言語の世界にしっかりと足を踏み入れることができるような楽しい学習環境を講師と生徒とで作り出していきます。もちろんそれも強固なカリキュラムがあってこそ。レベル1のテキストを修了した生徒たちは、聞こえてくる英語や自分が話している英語を書いたり読んだりするための基礎能力を身につけていますので、新しい言語ターゲットを習得する能力も上手に発展させていくことができます。レベル2までたどり着いた生徒たちは、これまでよりもっと多くの実践的で便利な新しい日常会話パターンの存在に気付き、遊び、学んでいくための準備が整っています。ここでのパターンとは、新しいもの同士が互いに互いにはまっていけるか、いかに強化されていくか、そしていかに英語の骨組みへの理解を押し広げていけるかを実感できるように整理されています。このように、コミュニケーション力を発展させることでうまれた強靱な骨組みがあれば、子供たちは“英語のことを考える”という領域から、“実際に英語で考える”ようになります。またさまざまな楽しさを得ながら自分自身にとって意義のある方法で、柔軟にかつスムーズにコミュニケーションができるようになります。

Units 1-5 : テキストレベル1の復習・人や物の認識・色について話す

ここでは英語の文法において主語と動詞とがいかに変化するかを発見します。その後、三人称に触れていきますが、これは主語がほとんど省略され主語によって動詞が変化しない日本語とは大きく異なる点です。同時に、名詞と冠詞との関連性や形容詞の活用をさらに追求していきます。

Units 6-10 : 複数形と複雑なフォニックス 2

対象のものが複数形であるか単数形であるかは英語では大変重要な点となります。英語におけるほぼ全ての思考に影響を当てるものです。またこれも日本語の作られ方とは全く違う考え方だからこそ、英語の複数形、単数形の仕組みに子供たちが気づき、理解し、コミュニケーションをとるためには特別な配慮が必要なのです。しかしながら、レベル1で複数形は軽く触れる程度でしたので、ここレベル2ではさらに詳しく学び、フルセンテンスのパターンや対話文のなかで練習していきます。また、複雑なフォニックスも学習していきますが、これまでの学習で新しい文字の並びをどう読むかうまく推測することができるようになっていきますので、リーディング力も次の段階へとステップアップします。

Units 11-15 : 職業と複雑なフォニックス 3

人々や職業について話すとき子供たちは、三人称における女声語または男性語をどのように定式化していくか、そして英語での質問や声明文の作りかたを探求していきます。ここまでくると生徒は単に単語や会話パターンを読むにとどまらず、短い物語や音楽の歌詞の世界へも足を踏み入れていきます。頭のなかで組み立ててきた文法や語彙の縁取りを使って、より自然な形の英語との出会いを増やしていきます。

骨組みからの発展

当コースの核となる学習メソッドは（難しい文法の説明をすることなしに）、生徒たちが意義ある会話のなかで思考錯誤しながら、簡単かつ管理されたやり方で新しい言語パターンに気づき、それを使いながら遊ぶというもの。彼らが自分自身で英語のルールに向き合い、どのようなしくみになっているかを実感することで、またパターンを見出す力を開拓し自表現力を磨きくことで、“実際にやりながら”英語を学んでいくのです。このような実践的なアプローチ法は、子供たちの問題解決力やコミュニケーション力の上達を後押し、さらには英語の世界を探求していくためのモチベーションの糧となるのです。また、“活発な学び手”として必要な能力を備え、英語のしくみの基礎をしっかりと掴むための「マインドセット＝ものの捉え方」を持ち合わせた子供たちであれば、次のテキストに登場する物語やシチュエーションにおいて英語でコミュニケーションするための能力やその手段の幅をスピーディに広げていくことができるはずです。